

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

海運業を主軸とする物流企業として、人々の豊かな暮らしに貢献

ROE
10%以上ROIC
6.0～7.0%経常利益
1,600億円

② 中長期の経営戦略

1. 事業ポートフォリオ戦略

鉄鋼原料・自動車船・LNG輸送船を成長事業として経営資源を集中。電力炭・油槽船・LPG船で新エネルギー需要に対応。パルクキャリア・内航で安定収益を確保

3. 資本政策・株主還元

2026年度までに8,000億円以上の株主還元を計画。2024年度までに約6,100億円を実施済み。2025年度配当120円、2026年度配当100円を予定

2. 機能戦略強化

環境・技術・安全・船舶品質管理、DXの3機能を強化。人材・組織の基盤整備で選ばれる能力を構築

4. 新規事業領域開拓

液化CO2輸送事業や洋上風力発電支援船事業など、グループの専門領域を活かした事業拡張を推進

③ 対処すべき課題

① 環境対応への事業転換

- ・代替燃料船への船隊転換と新エネルギー輸送需要への対応を加速
- ・環境対応を新たな成長機会として事業ポートフォリオを最適化
- ・2050年の脱炭素化目標実現に向けた長期戦略の実行

② 経営資源の最適配分

- ・成長事業と安定事業へのメリハリある資源配分で収益性を強化
- ・中期経営計画期間の投資規律維持と資本効率の最適化
- ・好況時は抑制的に、市況悪化時は戦略的に投資を実行

③ 財務健全性と株主還元の両立

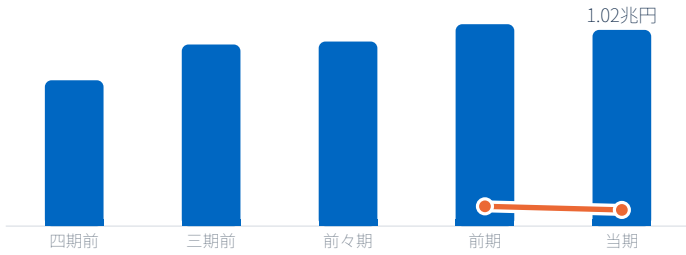
- ・最適資本構成を意識した成長投資と配当・自己株式取得の分配
- ・事業ごとの資本コストとキャッシュフロー意識の経営管理導入
- ・適正資本超過分について積極的な株主還元を実施

面接で使えるポイント

- ・2050年脱炭素化に向けた代替燃料船への転換と新エネルギー輸送事業の拡大に携わる機会
- ・環境・技術・安全・DXの3機能強化を通じた川崎汽船ならではの専門性追求
- ・2026年度ROE10%以上、経常利益1,600億円達成を支える事業戦略の実行に参画

証券コード 9107

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1.02兆円営業利益率
8.3%財務健康度
69点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 71.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,450万円
海運業内 3位/11社平均年齢
38.0歳
海運業内 8位/11社平均勤続
13.4年
海運業内 6位/11社女性管理職
9.2%
海運業内 4位/8社男性育休
82.2%
海運業内 4位/6社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

